

2023年9月吉日

会員のみなさま

大阪府臨床心理士会会長 梨谷 竜也
研修委員会委員長 花輪 祐司

2023年度 大阪府臨床心理士会 合同研修会【対面研修】のご案内

2023年度大阪府臨床心理士会合同研修会を下記のとおり開催いたします。今回は対面研修の形式をとり、各部会より7企画の研修を1日研修の形で実施いたします。参加者のみなさまには、午前・午後それぞれご希望の研修をお選びいただきますようお願いいたします。

会員のみなさまには、ご多忙の時期とは存じますが、積極的なご参加をお待ち申し上げます。

当日は新型コロナウイルス感染予防として、マスクの着用を推奨しております。同封の『新型コロナウイルス感染防止のための当会事業および研修会開催・運営のガイドライン』をお読みの上、何卒ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。当会でも新型コロナウイルス感染拡大防止に努めておりますが、感染についての責任は負いかねますのでご了承ください。

※今回の研修は、イベントペイでの申込になります。

参加申込をされる場合は、【5 申込手続き】に沿ってお申込ください。

※事前申込のみです。当日の参加申込はできません。

※申込状況により希望の研修会に参加できない場合がございます。ご了承ください。

記

- 日時：2023年11月26日（日）10：00～16：30
- 場所：大阪経済大学D館（8頁の会場案内地図参照）
※会場の空調は集中管理のため、各自、調整できるように服装等ご準備ください。
- スケジュール：
9：30～10：00 受付
10：00～12：30 午前の部

研修一覧				
午前	A 神経心理学的 アセスメント	B 「性」の 基礎知識	C 被害者臨床	D 暮らしの中の 認知行動療法

12：30～14：00 昼食・休憩（大学の食堂が利用できます）

※書籍販売があります

14：00～16：30 午後の部

研修一覧			
午後	E ケース・フォーミ ュレーション	F 副業・兼業 支援	G ひきこもり 支援

※会場の都合により、定員を設ける場合があります。

4. 研修内容：

◇ ◆ ◇ 午前の部 ◇ ◆ ◇

《A》 認知症の神経心理学的アセスメントを学ぼう

この分科会では、認知症の神経心理学的アセスメントについて学びます。さまざまなタイプの認知症について、認知機能をどのように評価し、アセスメントに活かせばよいか、言語聴覚士、臨床発達心理士、公認心理師として、子どもから高齢者まで幅広い臨床経験をお持ちの鈴木則夫先生に解説していただきます。

すでに関連する領域に関わっている方はもちろん、これから認知機能検査を取り始める方にとっても大変役立つ内容だと思います。神経心理学的アセスメントの奥深さに触れ、脳内で何が起きているのかを想像できるようなアセスメントのあり方を学びたいと思います。

企 画：医療保健部会
講 師：鈴木 則夫（滋賀県立総合病院）
司 会：中 亮介（住友病院）

《B》 あらためて「性」の基礎知識を学ぶ

青年期の相談において性に関する相談は多く、カウンセラーにも性に関する知識やそれに基づいた関わりが求められる場面が少なくありません。特に女性が身体的・気分的不調を訴える場合、そこには性に関連した要因を含んでいる場合があります。例えば生理前後の不調などは精神的な問題と身体的な問題との線引きが難しい場合もあり、その対応をするカウンセラーには、医療的な知識や知見が必要となります。

本研修では、島根大学松江保健管理センター教授、産婦人科医・臨床心理士の河野美江先生をお招きし、性についての基本的な知識や婦人科医療の現在について、また性と関連の深いパートナーシップの問題、性加害・性被害の予防教育などについてもご講義いただきます。実際の相談場面での対応や助言につながる知見を得られる機会としたいと考えています。

企 画：教育部会
講 師：河野 美江（島根大学 松江保健管理センター）
司 会：森 布季（大阪大谷大学 学生相談室）

《C》 被害者臨床一介入と実際一

突然の事件、事故によって大切な人を失ったり、自らも心身の外傷を負うなどした犯罪被害者等への心理支援はどの領域で活動する心理士にも関係しています。そのようなクライアントに出会った時、私たちはどのようなことを理解しておく必要があります、またどのようなことに気を付けなければならないのでしょうか。本研修では、被害者支援の第一線で活動し、被害者の心理ケアをはじめ、司法関係者、医療従事者等を対象に多数研修をされている鶴田信子先生を講師にお招きします。事例を通じて、支援者の多角的で透徹した視点や司法と市民感覚のずれ、支援者自身のメンタルヘルスの問題、トラウマ焦点化認知行動療法(TF-CBT)などについてご講義いただきます。被害者の回復に向けて必要な理解を深め、スキルを学ぶ機会になることと思います。

企 画：司法矯正部会
講 師：鶴田 信子（被害者支援都民センター）
司 会：中村 昌子（大阪国際大学）

《D》 暮らしの中の認知行動療法 — 超高齢社会における自律支援の現場から —

サクセスフルエイジングにむけて、私たちは老いの中でどのように自律への意思を支え、個々の問題対処能力を高めればよいのでしょうか。高齢者やその周囲の人々が日常生活で無理なく取り入れることができ、またありのままの自分を誠実にいたわりの気持ちをもって受け入れていけるようなセルフケアのあり方など、ウェルビーイングに役立つ認知行動療法の可能性について考えたいと思います。

今回は、米国で臨床ソーシャルワーカーとして、マインドフルネス認知療法を実践されてきたフォーク阿部まり子先生（ミシガン大学）、そしてわが国で高齢者と多世代をつなぐ、地域支援の取組みをされている日下菜穂子先生（同志社女子大学）をお招きし、実際のワークを含みつつ魅力的なプログラムや認知変容の実践活動をご紹介します。

企 画：福祉部会
講 師：フォーク阿部まり子（ミシガン大学）※アメリカよりオンライン参加
講 師：日下 菜穂子（同志社女子大学）
司 会：森本 美奈子（梅花女子大学）

◇ ◆ ◇ 午後の部 ◇ ◆ ◇

《E》 認知行動療法（CBT）におけるケース・フォーミュレーション

CBTは、さまざまな精神疾患や日常のストレス等に対するアプローチとして注目されています。CBTには、認知再構成法、問題解決法、エクスポージャー、アサーション等、さまざまな技法がありますが、そうした技法が効果を発揮するためには、事例の成り立ちを把握した上で、介入方針を組み立てるといったケース・フォーミュレーションのプロセスが必要不可欠です。本研修では、ケース・フォーミュレーションについて、問題解決療法をご専門とする本岡寛子先生にご講義いただきます。CBTのセラピストが、患者やクライアントの困り事の成り立ちについて、どのような仮説を立てながらやりとりをしていくかについて学ぶ機会にしたいと考えています。また、ワークを通じて、より習熟を図れる場にしたいと思っています。

企 画：医療保健部会
講 師：本岡 寛子（近畿大学）
司 会：西尾 悠佑（阪南病院）

《F》 副業・兼業を支援するための基礎知識～多様な働き方を後押しする心理職であるために～

近年、働き方改革の一環として、厚生労働省の主導のもと副業・兼業が推奨されており、副業・兼業に関するガイドラインも公表されています。また国の取組みを受けて、副業・兼

業の制度を整備している企業も増えており、副業・兼業は今後より広まっていくことが予想されます。

しかし、その一方で企業においては副業・兼業をする労働者の労働時間や健康面の管理をどのように行っていくのか等の課題があると考えられます。また労働者にとっても副業・兼業という新しい働き方を行うために気をつけるべきポイントや進め方がわからず、踏み切れないこともあるのではないのでしょうか。副業・兼業を目指す労働者を支援するために抑えておくべきポイントとは何か、心理職ができることは何か、一緒に考えていきます。

企 画：産業部会
講 師：湯地 高廣（カゴメ株式会社）
話題提供：阿部 桂大（ティーベック株式会社）
司 会：大田 由佳（株式会社カプコン）

《G》 ひきこもりという生き方をどう支援していくか～ひきこもりの中高年化と8050問題～

私たちは、数年前、COVID-19の影響から一様に「こもる」ということを経験しました。また同時に、人とつながることの安心感も経験をしました。今、改めて、いわゆる「ひきこもり」という「こもる」ことを選択せざるを得なかった生き方をしている方々に対して、我々心理士に何ができるのかを一緒に考えてみませんか？今回は、行政の相談窓口でのひきこもり支援の経験や各当事者会に携わっておられる大阪経済大学の岩田光宏先生を講師としてお招きし、ひきこもりの長期化、中高年化の課題や8050問題といった社会問題を切り口に、ひきこもりを問題から生き方支援へと捉え直してみたいと思います。その中で、心理士が本人や家族の社会資源の一つとしてつながり続け、誰もが安心してこもり、安心して社会に出るための方法を探りたいと思います。

企 画：福祉部会
講 師：岩田 光宏（大阪経済大学）
司 会：戸田 香織（堺市障害者更生相談所）

5. 申込手続き

※お申込は、イベントペイで行っていただきます。パソコン、スマートフォン等をご用意ください。

【重要】なお、本案内は「大阪府臨床心理士会会員専用申込フォーム」となっております。当会非会員の方には別の申込フォームを大阪府臨床心理士会ホームページにてご案内いたします。

- ① 申込締切：10月15日（日）振込み分まで※ 締切厳守
研修当日の受付はいたしませんので、ご注意下さい。

②参加費：

大阪府臨床心理士会会員 3,000円

非会員（但し、臨床心理士有資格者に限る） 5,000円

※入会希望の方は、10月15日（日）までに入会をお済ませください。

※入会申込から入会登録の完了まで、早くても2週間程度は要します。

※年会費を2年以上滞納された場合、除籍となります。ご注意ください。

③参加ご希望の方は、以下のURLあるいは二次元コードにアクセスし、申込フォームにご入力ください。当会ホームページのトップページにも掲載しております。

※この申込フォームは当会会員専用です。非会員の方は大阪府臨床心理士会HPに非会員用申込フォームがあります。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=1573059353461105&EventCode=5514096313

（短縮： <https://onl.sc/fvCKfn8>）



- 手数料は220円です。
- システム上、1つの分科会につき、「【会員】1500円」と表示されています。1つの分科会のみのお申込は受け付けられません。必ず、午前1つ午後1つを選択ください。
- 午前1つ午後1つを選択しますと、次のページには、午前「1人」、午後「1人」、合計「2人」とシステム上表示されますが、「おひとりの参加者が午前1つ午後1つ、計2つの分科会を選択した」こととなります。
- 申込フォームに入力されたお名前や臨床心理士番号、メールアドレスなどが、当会の会員確認となります。
- ご入力されるメールアドレスが、eventpay.jpからのメールを受信するよう設定を確認してください。キャリアメール（@docomo,@ezweb,@softbankなど携帯電話会社が自社ドメインで提供する電子メールサービス）でのお申込の場合、eventpay.jpから受信できないことが多いようです。また、eventpay.jpから受信したメールが、誤って迷惑メールフォルダに分類される場合もありますのでご注意ください。
- 申込エラーが表示された場合、1つしか分科会を選択していない、1つのメールアドレスで2回目の申込をしているなどの理由があります。必要に応じて前のページに戻り、申込情報の確認をお願いします。
- クレジット決済を選択された方は、入金を確認されると【お申込みいただきありがとうございます】の件名の申込および事前支払い受付メールが届きますので、こちらで参加申し込みは完了です。なお入力等に不備がある場合、決済が行われず申込が完了しません。確

認メールが届いていることを必ずご確認ください。

- コンビニ決済又はペイジー決済を選択された方は申込受付メールが届いた後も、引き続き支払手続きをお願い致します。入金が確認されると、「入金を確認いたしました」と入金確認メールが送信されます。入金が確認された時点で、参加申込は完了です。期限内に入金がないと、申込は自動的にキャンセルされます。
- 一度納入された費用は、いかなる理由があっても返金できません。ご了承ください。

④参加申込の完了後の返金および分科会の変更はできません。

⑤参加申し込み締め切り10月15日（日）までに手続きを完了された参加者には、11月中旬に「参加証」を当会に登録されている案内送付先の住所にはがきでお送りします。当日忘れずにご持参ください。はがき発送時期が変更になる場合はHP等でお知らせいたしますのでご確認ください。

※尚、手続きに不備があった場合は「参加引換証」をお送りします。「参加引換証」が届いた方は、当日9：30～10：00までに事務局受付で参加証と引き換えてください。

⑥本研修は、資格更新のための研修ポイント（2点）を申請予定です。

研修会終了後、各研修会場にて、「参加証」と交換で、研修証明書を配付します。

（遅刻・早退は30分を限度とします）。

6. 問い合わせ先

お問い合わせは、下記の大阪府臨床心理士会事務局まで、メールまたはFAXでお願いします。当会の会員確認および参加申込の確認をいたしますので、お名前と臨床心理士番号を必ずご記入ください。

キャリアメール（@docomo,@ezweb,@softbank など携帯電話会社が自社ドメインで提供する電子メールサービス）でお問い合わせの場合、事務局からの返信メールが、エラーで戻ってくる場合がございます。ご注意ください。

2週間以内に返答がない場合は、お問合せが当会事務局へ届いていない、又は事務局からの返信メールが受信拒否されている可能性があります。当会事務局からのメール（osakacp@osccp.jp）が受信可能なメールアドレスから、再度お問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

なお、事務局の開室曜日が限られますのでお返事には日数を要する場合がございます。また土日祝は閉室しておりますため、研修会前日や当日にメールやFAXでお問合せを頂いてもお受けできません。

本研修会に関してのお問い合わせはお早めにお問い合わせください。

【問い合わせ先】

大阪府臨床心理士会事務局

E-Mail : osakacp@osccp.jp

Fax : 06-6942-5110

Home Page : <https://www.osccp.jp/>

7. 託児サービスのご案内

小さなお子様のいる方でも、当日安心してゆっくりご参加いただけるよう、託児サービスをご用意する予定です（今後の感染状況等により変更する場合がございます。詳細は府士会HP等をチェックしてご参加ください）。

利用可能時間	9：30～16：45まで
対象	合同研修会の参加者（本会非会員もご利用できます）
お子様の年齢	1歳～6歳（未就学児に限ります）
定員	15名（先着順）
託児場所	大阪経済大学内（申し込まれた方に後日お伝えします）
利用料金	2,000円（本会非会員も同じ）
利用方法	予約制
託児形態	託児サービスは株式会社ポピンズに委託して実施します。
利用申込・お問い合わせ	同封の案内チラシをご確認いただき、利用申込書に必要事項をご記入のうえ、株式会社ポピンズまでFAXにてお申し込みください。 株式会社ポピンズ大阪支社 チャイルドケアサービス部 担当：竹内・平尾 電話06-6367-2100 FAX 06-6367-2105
その他	保育に配慮が必要な場合は、ご予約時にお申し出ください。 大阪府臨床心理士会および大阪経済大学は、本サービスおよび会場内外での事故等の責任を負いかねますので、ご了承ください。 詳細は同封の案内チラシを御覧ください。

8. 会場（大阪経済大学）へのアクセス

大阪経済大学 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

- ・ 阪急京都線「上新庄」駅、徒歩約15分
- ・ 地下鉄今里筋線「瑞光四丁目」駅、徒歩約2分
- ・ 市バス「大阪経大前」下車

